

習志野市バランスシート探検隊事業



参考資料目次

資料①「習志野市バランスシート探検隊事業に関する協定書」	2
資料②「習志野市バランスシート探検隊設置要領」	3
資料③「記者会見資料」	4-5
資料④「探検隊レクチャーノート（抜粋）」	
探検隊 1 班「下水道事業について」	6-12
探検隊 2 班「1 円の資産（体育館）について」	13-18
探検隊 3 班「防火水槽（消防施設）について」	19-24
探検隊 4 班「小学校（校舎）について」	25-30
資料⑤「広報習志野（2012 10/15 号）」	31-33

習志野市役所 会計課

習志野市バランスシート探検隊事業に関する協定書

習志野市（以下「甲」という。）と千葉大学法経学部（以下「乙」という。）とは、「習志野市バランスシート探検隊事業（以下「本事業」という。）」の実施に関して、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、本事業の実施に当たって、甲と乙双方が対等な関係のもと互いに理解・尊重し、協働で本事業を推進していくために必要な事項を定めるものとする。

（役割）

- 第2条 甲は、将来にわたって健全な財政を構築し自治体経営をしていくために、公会計改革を推進し、本事業によりバランスシートを市民にわかりやすく周知するものとする。
2. 乙は、甲と協働して本事業を行うことで地方公共団体における財務会計制度の理解をはかるものとする。
3. 甲及び乙は、具体的な本事業の企画及び実施にあたり、協議の上、適切な役割分担を決定することとする。

（内容）

第3条 本事業は、次に掲げるものとする。

- （1）事業名 探検隊事業
- （2）事業内容 ◎習志野市テレビ広報「なるほど習志野」の制作協力
（放送日：平成24年3月15日～3月31日）
◎報告書の作成（アニュアルレポートに掲載）

（経費）

第4条 本事業に係る経費は甲が負担する。

（期間）

第5条 事業の期間は、平成24年3月31日までとする。

（報告・評価）

第6条 甲及び乙は、互いに協力・協調して、本事業終了後に事業報告書を作成するとともに、事業実施の評価を行わなければならない。

（その他）

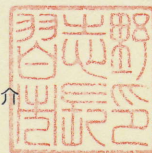
第7条 この協定に定めのないもの、または疑義を生じた協定の事項については、甲及び乙の協議のうえ定めるものとする。

この協定の証として、本協定書2通を作成し、当事者押印のうえ、各自1通を保有する。

平成23年9月20日

甲 住所 習志野市鷺沼1丁目1番1号

氏名 習志野市 市長 宮本 泰介



乙 住所 千葉市稲毛区弥生町1-33

氏名 千葉大学 法経学部長 小賀野 晶



習志野市バランスシート探検隊設置要領

(設置)

第1条 習志野市の貸借対照表（以下「バランスシート」という。）を広く市民に周知することを目的として、習志野市テレビ広報「なるほど習志野」の番組の制作を支援するために、習志野市バランスシート探検隊（以下「探検隊」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 探検隊は、次の事務を所掌する。

- (1) 習志野市テレビ広報「なるほど習志野」の番組制作に関すること。
- (2) 探検隊報告書の作成に関すること。
- (3) その他バランスシートの周知に関すること。

(組織)

第3条 探検隊は、別記1に定める隊長及び隊員をもって組織する。

2 隊長には千葉大学法経学部教授を充てる。

(設置期間)

第4条 探検隊の設置期間は、平成24年3月31日までとする。

(会議)

第5条 探検隊の会議は、企画政策部経営改革推進室長が招集し、隊長はその議長となる。

(事務局)

第6条 探検隊の事務局は、企画政策部経営改革推進室とする。

(その他)

第7条 この要領に定めるもののほか、探検隊の運営に必要な事項は企画政策部経営改革推進室長が、探検隊に諮って定める。

附 則

この要領は、平成23年9月20日から施行する。

別記1 省略

習志野市バランスシート探検隊事業について

～みんなで健康チェック！習志野市の財務状況～

【事業概要】

習志野市と千葉大学は協働で、多くの市民に財政状態を理解してもらうことを目的にバランスシート探検隊事業を企画しました。

活動内容を習志野市テレビ広報「なるほど習志野」の番組（平成24年3月15日～31日）に放送するとともに、事業内容の報告書はアニュアルレポート等に掲載し広く市民に周知を図ります。

（主な事業計画・なるほど習志野撮影予定シーン）

11月1日（火）17:30-18:00 結団式 会場：市役所サンロード6階会議室

～頂上目指して出発進行～

○結団式後、公認会計士による財務書類報の説明会にて学習する。

12月18日（日）13:00-17:00 千葉大学生・高校生と協働学習 会場：千葉大学にて

～財務書類にはヒントがいっぱい！～

○大学生・高校生・市職員によるグループごとに探検隊ノート（バランスシートを理解するためのレクチャーノート＝千葉大学と市により作成予定）により学習する。

平成24年1月28日（土）13:00-17:00 市の施設視察

～目で見て感じて体験しよう！～

○大久保駅周辺の生涯学習等施設・袖ヶ浦地域における保育・教育施設・下水道施設の施設見学を通じて習志野市財務情報を理解する。

上記以今後の事業計画（撮影以外）

○千葉大学でのゼミと協働 場所：千葉大学

平成23年11月14日（月）探検隊ノート作成作業

平成24年1月16日（月）施設視察の打合せ

平成24年2月20日（月）事業報告書打合せ

○高校生隊員の勉強会 場所：市役所

平成23年11月下旬 高校生隊員に対して、バランスシートの基礎を学習してもらう。

○その他

平成24年1月中 施設視察の下見

平成24年3月中 解散式 なるほど習志野の試写会

いままでの活動内容

平成 23 年 2 月 公会計改革スタディグループ（自主勉強会：会員約 70 名）の中に「バランスシート探検隊」の分科会の設置を会員に打診し、7 名の職員の参加希望があった。併せて、習志野市と縁のある千葉大学の太塚教授に事業計画を話したところ、協力をしていただけることとなった。平成 23 年 3 月 7 日（月）18:00 より希望会員による打合せを実施し、企画書案の骨格が固まった。

その後、3 月 11 日の震災により、時間外による自主勉強会については中断することとなった。

経営改革推進室の事業として再開

- 平成 23 年 7 月 26 日 バランスシート探検隊会議 場所：習志野市
- 平成 23 年 9 月 7 日 バランスシート探検隊会議 場所：習志野市
- 平成 23 年 9 月 20 日
 - 習志野市バランスシート探検隊設置要領制定
 - 習志野市バランスシート探検隊事業に関する協定書締結
- 平成 23 年 10 月 4 日 場所：習志野市
 - 1 部 意見交換会 千葉大大塚教授、学生 習志野市 副市長他
 - 2 部 会議
- 平成 23 年 10 月 17 日 バランスシート探検隊会議 場所：千葉大学

アピールポイント

- ①斬新なネーミング「バランスシート探検隊」・・・全国初？
- ②主な事業場面の標語を作成した
- ③千葉大学との協働事業
 - 大学のゼミの授業の枠内での実施
- ④公募高校生の参加
- ⑤市の自主的勉強会から発展した事業
- ⑥映像による紹介（なるほど習志野・ユーチューブ）の導入
- ⑦課を超えて従前の事業費で対応
 - （映像等製作事業【広報課】・連結財書類作成事業【経営改革推進室】）
- ⑧今回の事業成果については来年度の市民カレッジ講座への組み入れを検討

【参考資料】

- ①習志野市バランスシート探検隊設置要領
- ②習志野市バランスシート探検隊事業に関する協定書
- ③習志野市バランスシート結団式について

【問合せ】

企画政策部 経営改革推進室 担当者 宮澤・多賀谷

6. 下水道事業について



第1班メンバー紹介

大学生隊員（千葉大学）

神之田 真吾・加藤 裕樹

川島 宏之

高校生隊員

佐々木 隆太郎（習志野高校）

松本 美帆（習志野高校）

錦織 駿一（習志野高校）

市職員隊員

平岡 真由美

第1班では、インフラ資産の中で、資産金額が一番高い下水道事業について調べてみることにしました。



下水道の役割を教えてください？

下水道には大きく分けて4つの役割があるんじゃ。



一つ目は、汚水を処理して快適で衛生的な生活が営めるようにすることじゃ。私たちが毎日の生活で使った水は、下水処理場に集められて浄化されるんじゃ。それによって、まちが清潔に保たれているんじゃよ。



二つ目は、トイレが水洗になることで、家の中で嫌な臭いがなくなり、快適な生活が送れることじゃ。台所やトイレなどから出される汚水が流せないと大変じゃろ。



三つ目は、雨水を排除して浸水からまちを守ることじゃ。1980年代までは、大雨が降ると浸水被害を受ける地域もあったんじゃよ。



ラムサール登録地の谷津干潟

四つ目は、川、湖、海などをきれいにして、生態系を守ることじゃ。下水道の整備とともに汚れた川や海がきれいになり、本来の生態系が復活しているんじゃ。

※説明資料及びイラストの一部については社団法人「日本下水道協会」の許可を得て掲載しております。



今度は、下水道の仕組みについて教えてくれる？

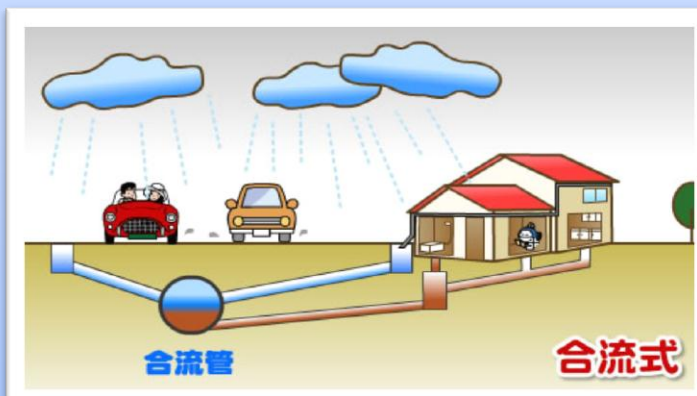
下水道には、分流式と合流式と言うものがあるんじゃない。



「分流式」では、汚水は污水管を通して下水処理場で処理されてから川や海などへ流すので安心じゃ。

ただ、分流式は污水管と雨水管を別に作らなきゃならんで建設コストがかさむのが難点なんじゃよ。

じゃが、雨水は雨水管を通してそのまま川や海に流せるので、処理費が安く済むというメリットもある。



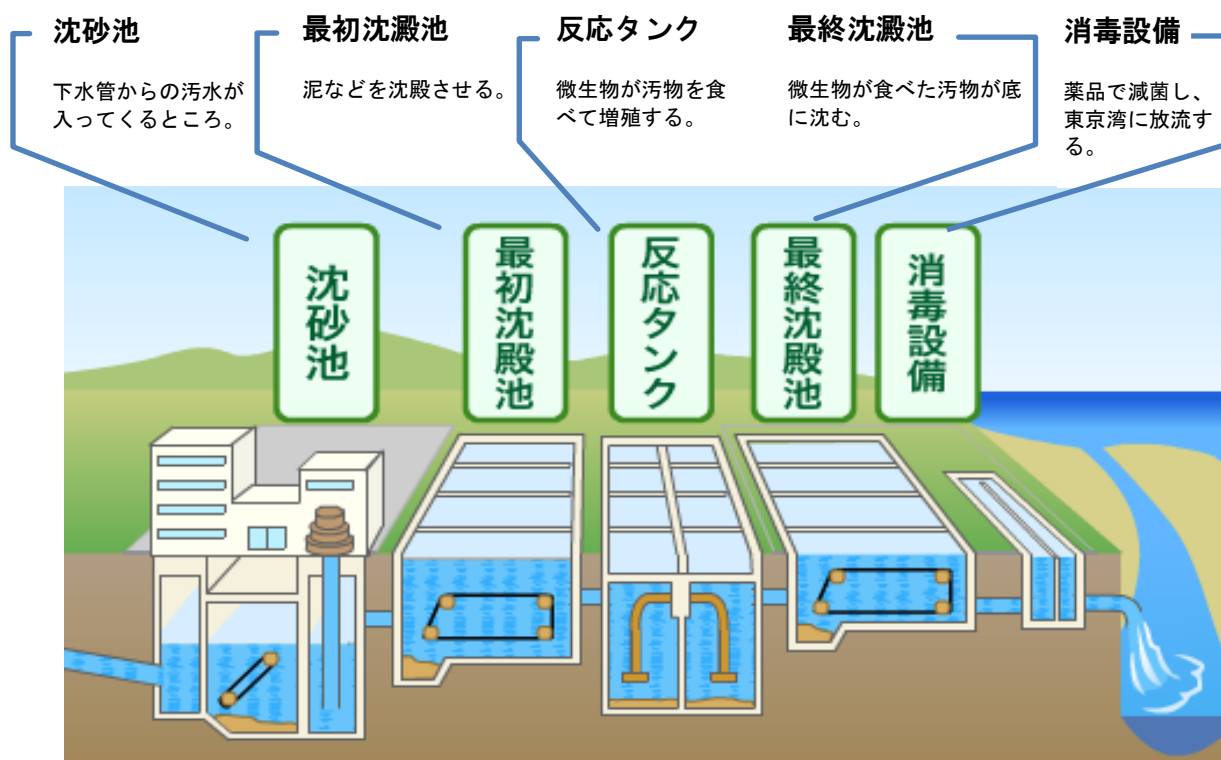
「合流式」は、合流管1本で済むので、建設費が安く済み、管理もしやすい。

じゃが、大雨のときなどは汚水のまざった雨水が川や海に放流されてしまうことがあって、水質汚濁を招いてしまうことがあるんじゃないよ。

日本の場合、早くから下水道をつくったまちでは合流式が多く、1970年後につくられたまちでは分流式が多いんじゃない。



習志野市では分流式と合流式の両方の方式で下水道が整備されているぞ。

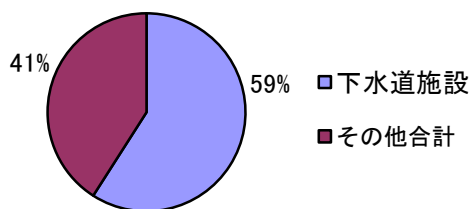


下水道ってすごいね！バランスシートからみた下水道を教えてください。

下水道の主な資産と負債を説明するぞ。

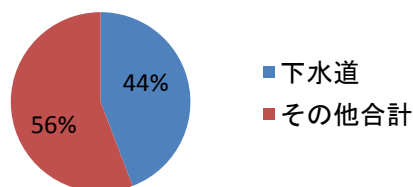


インフラ資産（土地を除く）の割合



	下水道施設	その他合計	総計
インフラ資産 (土地を除く)	881億円	621億円	1,502億円

地方債の割合



	下水道	その他合計	総計
公債	328億円	414億円	742億円

インフラ資産の施設の内訳をみてもわかるように、下水道施設は881億円で全体の約6割を占めているんじゃ。一方負債をみると、下水道会計の地方債が328億円で全体の約44%占めているんじゃよ。



下水道の純資産比率はどうなっているの？

いいところに気が付いたな！それじゃ、純資産比率を見てみることにするぞ！



下水道のバランスシート

資産	881億円	負債	328億円
		純資産	553億円

$$\begin{aligned}\text{純資産比率} &= \frac{\text{純資産}553\text{億円}}{\text{資産}881\text{億円}} \\ &= 63\%\end{aligned}$$

下水道のバランスシートから純資産比率を計算すると、63%になる。市全体の純資産比率が83.9%じゃったから、下水道資産の純資産比率が低いことがわかるな。

すなわち、将来世代の負担が多いということになるんじゃ。



そうなの？私たちが負担するの？いままでの世代はどうだったの？

習志野市の袖ヶ浦地区などは市以外の施工者による大規模開発で下水道が整備され、そのあとに下水管などが市に移管されたんじゃよ。

平成20年度に調べたときにはな、概ね、市全体の下水管の25%は移管されたものであることがわかったんじゃよ。

つまり、下水管の資産総額約1,232億円のうち移管分は約323億円ということがわかったんじゃ。

移管というのは寄付を受けたようなものでな、その時の世代が負担した分に含まれるんじゃよ。それでも市全体の資産の純資産比率に比べて、下水道施設の資産の純資産比率が低いじゃから、それだけいままでの世代の負担が低いということじゃ。



そうなんだ。移管された下水管なども老朽化してくるから、私たちの世代はその分も負担しなければいけないのね。

ところで、下水道の計画はどうなっているの？

習志野市の下水道事業は、袖ヶ浦団地の建設に伴い、昭和41年より事業に着手したんじや。習志野市の下水道計画は地形、経済地域を考慮し、市域を「津田沼処理区」「印旛処理区」「高瀬処理区」の3つの処理区に分けて污水处理を計画したんじやよ。



◎下水道基本計画（平成22年7月）計画目標年次 平成36年

処理区名	津田沼処理区	印旛処理区	高瀬処理区
計画面積	1,261.2ha	686.0ha	88.3ha
計画人口	96,100人	54,200人	11,700人
排除方式	分流式一部合流式	分流式	合流式一部分流式
処理場名	津田沼浄化センター	花見川第二終末処理場 (千葉県)	高瀬下水処理場 (船橋市)

平成22年度末状況

整備面積	973ha	420ha	41ha
処理人口	84,817人	45,983人	8,502人
普及率	90.5%	84.0%	67.7%
水洗化率	98.4%	92.9%	97.0%



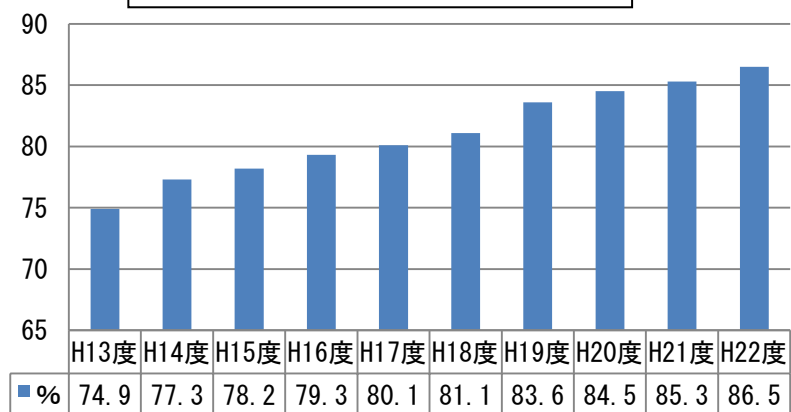
下水道の普及率は他市と比べてどうなのかな？

下水道普及率＝処理区域人口÷行政区域人口×１００

という計算式なんじゃ、下の表を見てもらおうとわかるように、着実に普及率はあがっているんじゃ。全国平均や千葉県平均よりも普及率は良いんじゃよ。



習志野市の下水道普及率の推移



平成22年度
下水道普及率

全 国 75.1%
(東北3県除く)

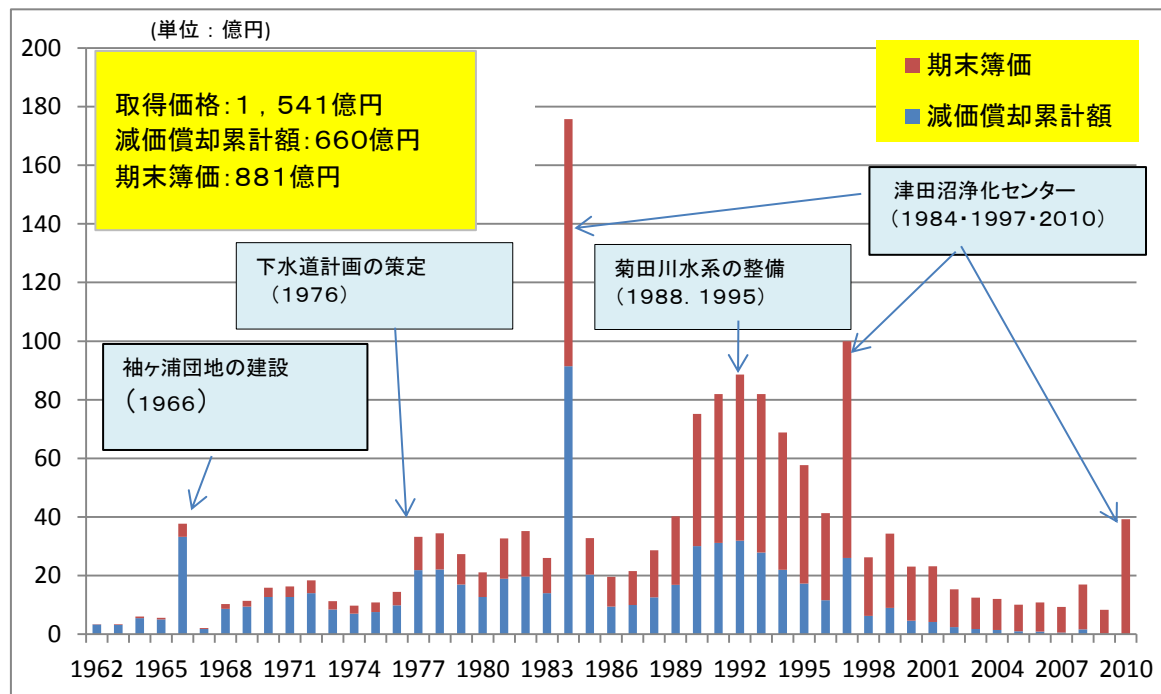
千葉県 69.2%

千葉市 97.2%

市川市 69.3%

流山市 73.3%

下の表は、固定資産台帳からつくった表じゃ。下水道施設資産は約1,531億円もあるんじゃ。今ある下水道施設と同じものを作り直すとしたら、これだけのお金が必要になるんじゃよ。
さらに、今後100%の普及率を目指すにはもっとお金がかかるんじゃよ。



下水道って重要な資産だし、ちゃんと計画を立てて更新していかないとイケないのね。

1班隊員感想

神之田真吾大学生隊員

今回施設を見学して新たに分かったことは、マンホールに転落防止の装置がついていたり、震災後に作られたマンホールは進歩しているということです。このことは、これまでの打ち合わせや財務諸表を読んだだけでは分らなかったことです。つまり、財務諸表上の数字と、実物の資産をリンクして考えることの重要性を、改めて学ぶことができました。

加藤裕樹大学生隊員

今回、マンホールや下水道処理施設を見学させてもらって、ただでさえ、立派な処理施設ですけど、今後も下水道の普及率の向上のための拡張工事や、維持更新するための維持費などもかかると思うので、今後しっかり計画して、快適な生活を送るために、しっかりとした計画が必要なんだなと思いました。

川島宏之大学生隊員

事前に書類を見ていただけでは分からなかった部分で、今回現場で直接聞いた話からわかった部分がありました。まず一つは、下水道には污水管と雨水管があり、それぞれの水が混ざらないように、污水管のマンホールのふたには穴がないということです。もう一つは新しいマンホールのふたに更新する際、1つにつき25万円かかり、現在1万2千個あるため、更新と新規開設分で莫大な費用がかかるということが分かりました。

佐々木隆太郎高校生隊員

バランスシートの書類を見て、自分は普段、節水などは特にしていないけれど、これだけの資産が動いているということを知って、節水などに心掛け、資源の節約をしていきたい、無駄遣いをしないよう頑張りたいと思いました。

松本美帆高校生隊員

マンホールや施設を見て、汚れた水がきれいになっていく様子を実際に見てみて、水をきれいにするにはこれだけ手間や時間がかかることが分かったので、私達は水を大切に、なるべく汚れた水を流さないようにしていくことが大事だと思いました。

錦織駿一高校生隊員

資料を見て、すごくお金がかかっている事業なんだなあとと思っていたのですが、どういう施設で、どういうことをやっているのかということについては分からなかったのが、今回、浄化センターを見学して、浄化されていく水の色が変わっていくのを見て、やっぱりすごく高額な費用をかけているのだなと感じました。こういう施設があるからこそ、衛生的な、きれいな生活ができていくのだなと感じました。

平岡真由美市職員隊員

下水道施設を実際に見学して、下水道から流れてきた汚水を微生物や薬品を使ってきれいにする浄化センターはもちろん、マンホールの一つひとつが私たちの生活に非常に重要な役割を果たしていることを改めて認識しました。バランスシートの上の数値だけでなく、実際の資産とリンク出来たことで、よりバランスシートを理解することができたと思います。



マンホールを視察



津田沼浄化センターを視察

7. 1円の資産（体育館）について



第2班メンバー紹介

大学生隊員（千葉大学）

小野 修平・篠原 みゆき
大竹 一司

高校生隊員

茂木 奏弥（津田沼高校）
今井 咲絵（実籾高校）
田中 恵里花（実籾高校）

市職員隊員

松本 浩史・小林カヅ子・渡辺 雅史

第2班では、資産の中で1円の体育館があるので、調べてみることにしました。



1円の体育館について教えて？

この建物は、1966年10月に当時の習志野高校（1956年開校）の第二体育館として建設されたんじゃよ。

当時の取得価額は23,870,000円とのこと、現在、同じ建物を建てると、119,111,300円かかる計算じゃ。

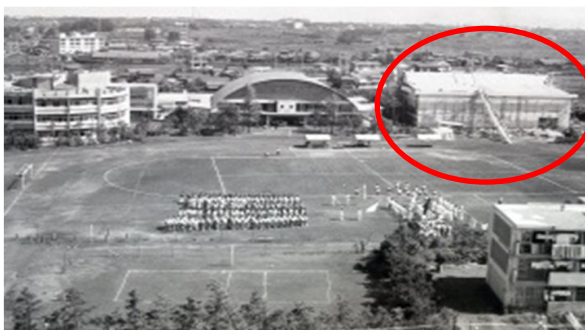
下の写真は建築中のときのものじゃ。体育館の床は、オリンピック用と同じ施工法とのことじゃよ。



（単位：円）

資産名称	取得年	耐用年数	取得価額 （再調達価額）	減価償却 累計額	期末簿価
市役所前体育館	1966年	34	119,111,300	119,111,299	1

※平成22年度固定資産台帳から抜粋



習志野高校は昔からスポーツが盛んなのね。
今は、どう利用されているの？

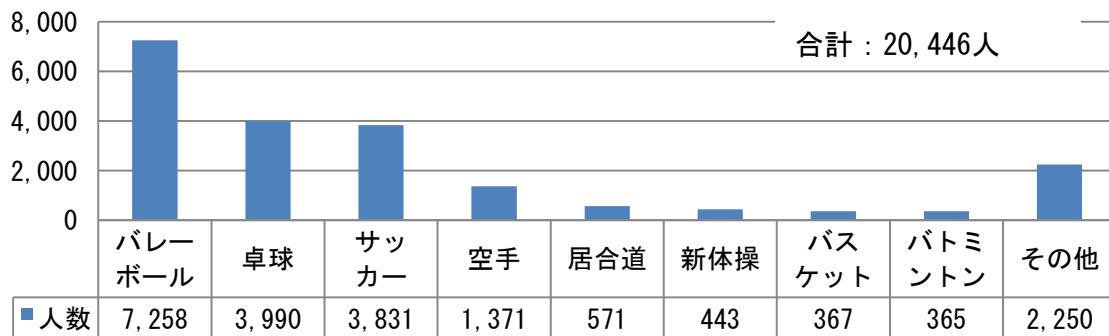


平成22年度は、20,446人の人が利用しているんじゃよ。

利用団体による運営委員会で会費を出し合い、清掃やワックスがけ、体育館周りの草刈りなど自分達で管理運営を行っておる。

市民まつりなどのイベント会場としても利用されておるぞ。

市役所前体育館利用人数



今でも使われているんだね。耐用年数が超えているけど、いつまで使えるのかな？

減価償却費はかからんが、建物の維持管理費はかかるし、問題は地震などの災害に耐えられるかじゃよ。
今後の修繕や耐震のことを総合的に判断して、このまま利用を続けるかを判断するときじゃな！





わかったわ！それじゃ習志野市で一番資産の評価額が高い体育館と比べてみたいな！

そうじゃな。比べてみることは大切じゃ。
東部体育館が習志野市で一番資産の評価額が高い体育館なんじゃよ。
まず、固定資産台帳から調べてみよう！固定資産台帳の見方はわかるじゃろ。



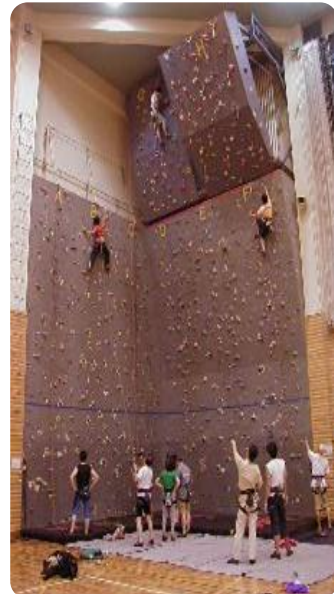
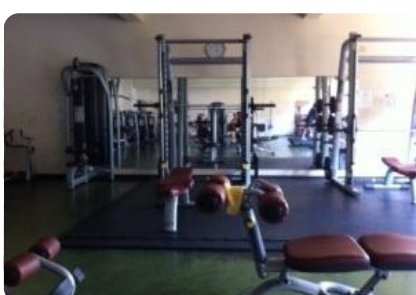
(単位：円)

資産名称	取得年	耐用年数	取得価額 (再調達価額)	減価償却 累計額	期末簿価
東部体育館	1994年	47	791,169,690	268,364,752	522,804,938

※平成22年度固定資産台帳から抜粋

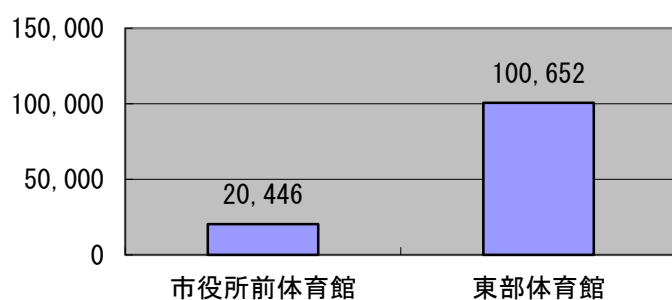


本当だ、建設費が約8億円もかかってる！減価償却費を計算すると、 $791,169,690 \text{円} \div 47 \text{年} = 16,772,797 \text{円}$ にもなる！！
早く見に行きたいな！



りっぱな体育館だね。
市役所前体育館と東部体育館の利用状況はどうなっているのかな？

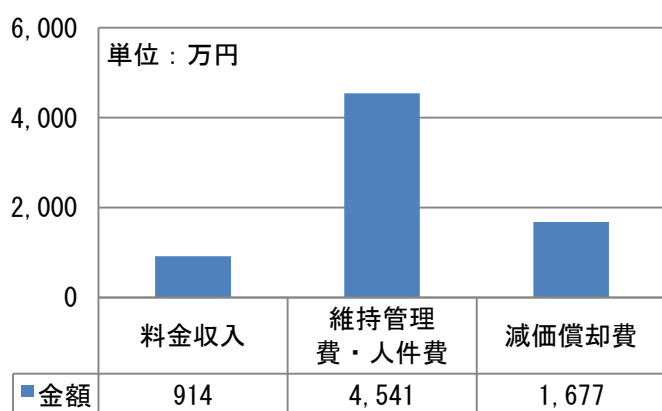
平成22年度利用人数



市役所前体育館に比べて利用人数は5倍だけど、建物の建設費も違うし、維持管理費もかかるんだよね。



建物は、建設してからの維持コストが、人件費を除いて建設費の3倍かかるとも言われているんじゃ。バランスシート探検から少しそれるんじやが、東部体育館の主なコストをみてみよう。



維持管理と人件費で毎年4千5百万もかかるんだ。減価償却費も入ると、6千万円以上なんだね。利用料の収入は914万円で、あとはどうなっているの？



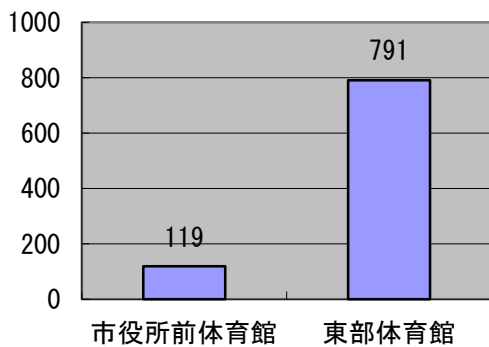
あとは、体育館の中の自動販売機の売上などもあるが、大部分は市民からの税金で賄っているんじやよ。この体育館の土地も市の財産なんじやよ。

そうなんだ。2つの体育館を見てみたけど、もう少し比べる資料がないとわからないよ？

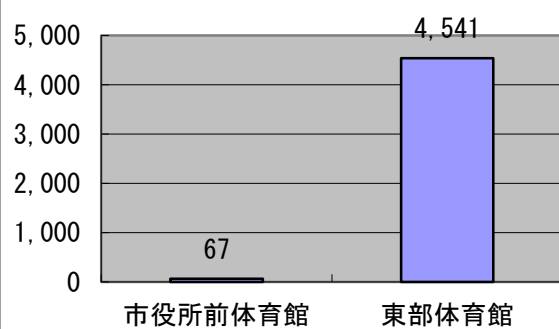


そうじゃな。もともと規模や目的が違う体育館だから、比較は難しいが、同じ項目を探して、比べてみることにするか。

取得価額(百万円)



1年間のコスト(万円)

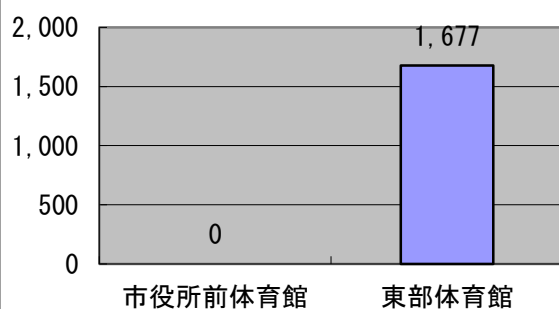


建物の取得価額は東部体育館の方が約7倍も高いんだね。

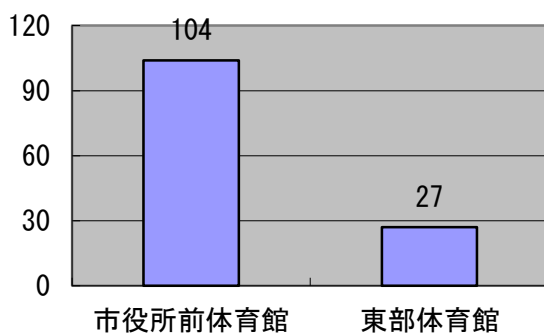
それに、1年間にかかるコストがこんなに違うなんて、ビックリ！



減価償却費(万円)



年齢に換算



人間の年齢に換算すると、市役所前体育館はなんと104歳にもなるぞ。

(計算式)
80歳 × 経過年数 ÷ 耐用年数

※人間の平均寿命を80歳として計算



市役所前体育館は、施設のコストはかからないけど、やっぱり老朽化は進んでいるね。人間で言えば104歳ってすごいね！東部体育館は利用者も多いけど、毎年の維持費もかかることがわかったよ。

体育館を持つということは、何十年先のこともしっかり頭に入れていろいろなデータから考えていく必要があるんじゃないよ。



2 班隊員感想

小野修平大学生隊員

市役所前体育館のコストが年間で70万円ちょっとで、これは東部体育館の4000万円強に比べるとすごく大きな差がある数字なんです。利用人数をみると10万人分の2万人の5分の1で、これは、つまりコストとそれに伴う効用、利用人数が必ずしも比例しないことを表していて、それは単純な数字的な問題で考えてしまうのは実態にそぐわないと感じました。

また、東部体育館においてもコストが年間4千万円ということで、当然、大がかりな人数を動員して運営をしているのかと思いきや、意外と職員の人数が多くなく、更に利用状況に関しても、3月末まで利用者が埋まっている状況で、市と運営団体も収益を上げる努力をしているのだけれども、その状況においても収支がマイナスということでした。こういった状況を市民の皆様に伝えて、現状を分かった上でコストを負担してもらう、ないしはコストカットしていく、ということを、バランスシートを使って市民に説明していくべきだと感じました。

篠原みゆき大学生隊員

今回の見学を通してすごく感じたことは、バランスシートの書類上で資産を見ていくのと、現物を見てみると、良い意味でも、悪い意味でも違うということです。今回は、実際の利用状況とか、東部体育館の館長の話も聞けたので、有意義だったと思いますし、今回はバランスシート探検隊という事業名ではありますが、習志野市の今後の予算や方針を考えていく上で、バランスシートだけでなく、利用状況とバランスシートの両方を見ていくことが重要であると感じました。

大竹一司大学生隊員

市役所前体育館と東部体育館を見学しましたが、帳簿価額というのは、市役所前体育館は1円にはなっているんですが、実際の利用状況などを見てみると、決まった団体さんが、何回も何回も使うような形で、公的目的ではなく、むしろ私的な目的で使われていると感じました。1円の価額しかないとは言っても、実質的な面を見て、取り壊すことも考えていくことが大切なのではないかと感じました。

茂木奏弥高校生隊員(津田沼高校)

市役所前体育館を見て、書類の上では価値が1円になっていますが、使っている人たちは、とても大事に使っているなと思いました。物というのは大事に使えば耐用年数よりも長く使えるのではないかと思います。

今井咲絵高校生隊員(実籾高校)

「バランスシート」という言葉・意味・役割・・・存在すら認識していませんでしたが、説明を受け、とても重要であることがわかりました。大学生と一緒に学んだりすることができて、楽しかったです。

田中恵里花高校生隊員(実籾高校)

私は今年高校を卒業し、大学では経済学科に進学します。最初はバランスシートというものの自体はよくわかりませんでしたが、大学生隊員の方が詳しく、ていねいに教えてくれたおかげでよくわかるようになり、今の習志野市の問題などがよく見えてくるようになりました。そして普段経験出来ないような市と大学生と高校生が連携して行う大きなプロジェクトに参加出来たことが、これからこのようなことを学ぶ私にとってとても良い経験になりました。本当に参加して良かったです。

松本浩史市職員隊員

バランスシートで数字として把握してきたものが実際に現場で高校生、大学生と一緒に実感できたのはとても有意義でした。普段市の職員として見慣れたものも含め、彼らの新鮮な目でみた感想や質問は改めて気付かされることも多く大変刺激になりました。

渡辺雅史市職員隊員

市の財政状況を分かりやすく伝えることの難しさを改めて実感しました。市民の方がバランスシートを読み解き、市政について考えてもらうためには、わかりやすい説明資料を作成する工夫もさることながら、定期的に広報活動を行う必要があります。今後は、高校生・大学生と協働で作り上げたレクチャーノートを活用し、市民の方にPRしていきたいと思います。

小林カツ子市職員隊員

市役所前体育館と東部体育館を見学して、私も習志野市民ですけども、市役所前体育館の中を見せてもらって、雨漏りの状況とか、古くなっているんだなあと思いました。東部体育館はすごくきれいな体育館ですが、コストがかかるということで、市民としても、もっと利用していけたらいいなと思いました。

8. 防火水槽（消防施設）について



第3班メンバー紹介

大学生隊員（千葉大学）

黒田 真衣・泉 佑樹

宮崎 陽右

高校生隊員

安達 陽子（星美学園高校）

武藤 智菜津（和洋国府台女子高校）

櫻井 美月（和洋国府台女子高校）

市職員隊員

酒主 晴久・多賀谷 朋子

第3班では、資産の中で老朽化率が高い防火水槽について調べてみることにしました。



ところで博士、防火水槽って何？

防火水槽とは、消火用の水を貯めておく大きな水槽のことじゃ。
火事が起きた時、消防車がホースでまくときに使うんじゃよ。

防火水槽には、地下に埋まっているものと、地上にあるものがある
んじやが、習志野市にあるのは全部地下に埋まっている防火水槽な
んじや。



消防本部に設置してある防火水槽

大きさ 5.7m×3.3m×3.8m 容量 68 t

取得年月日：1978年10月12日

取得価額：6,776,676円

耐用年数：30年

期末簿価：1円



消防水利の状況（平成23年4月1日現在）

消防水利の種別		設置数
防火水槽	公設	215
	私設	442
	小計	657
消火栓	公設	939
	私設	6
	小計	945
その他（プール等）		11
総合計		1,613

防火水槽の使用状況（平成23年12月13日現在）

	火災による 使用状況	訓練等による 使用状況	合計
平成21年	1基	2基	3基
平成22年	3基	2基	5基
平成23年	2基	2基	4基
合計	6基	6基	12基



公設は、市が設置したもの、私設は、民間の業者が設置したものじゃ。土地を開発して新しいマンションを建てたりした時などには、法律で設置が義務付けられているんじゃ。

ふうん。それにしても防火水槽って、こんなにたくさんあるんだね！
でも、消火栓があるなら、防火水槽なんて要らないような気がするけど・・・。



（単位：円）

資産名称		取得価格 （再調達価格）A	減価償却累計額 B	期末簿価 C=A-B	老朽化比率 D=1-C/A
防火水槽		1,458,483,287	1,144,776,155	313,707,132	78.49%
防火水槽 以外の 消防施設	機械装置 （指令装置等）	314,872,425	102,925,630	211,946,795	32.69%
	建物 （消防署等）	2,267,913,461	1,236,288,790	1,031,624,671	54.51%
	物品一般 （防護服等）	1,407,000	527,622	879,378	37.50%
	物品車両 （消防車等）	1,340,226,396	960,129,165	380,097,231	71.64%
	計	3,924,419,282	2,299,871,207	1,624,548,075	58.60%

※平成22年度固定資産台帳から抜粋

防火水槽は、老朽化比率が高いね。
ところで、消火栓は固定資産台帳には載っていないの？



市のバランスシートは、何億円単位の記録になるから、取得価格が50万円未満のものは、固定資産台帳には載せない決まりなんじゃ。

つまり、消火栓は50万円未満ということじゃな。ちなみに防火水槽の取得価格は大体500万円前後のものが多いのう。

防火水槽って高いんだね！それなら、防火水槽よりも消火栓をたくさんつくったらいいのに・・・



確かに価格を比べればそうじゃな。
しかし、大地震が起こったときなどは、水道管が破裂したり停電したりして、消火栓が使えなくなることがある。こんな時、防火水槽が重要な役割を果たすんじゃ。

防火水槽って地味だけど、いざという時、頼れる存在なんだね！でも、そんなに大切な資産なのに、老朽化しているなんて、なんだか心配だよ・・・。
防火水槽の耐用年数は何年なの？



防火水槽の耐用年数は30年と国の会計基準で決められておるんじやがの、実際には点検しながら30年以上使われているものもあるんじや。古いものじゃと、50年以上も使われているんじやぞ。

2班のみんなが調べている1円の体育館と同じだね！耐用年数の2倍くらい使えるってことなんだ！じゃあ、本当は老朽化してないってことで安心していいのかな？



(単位：円)

	取得価格 (再調達価格) A	減価償却累計額 B	期末簿価 C=A-B	老朽化比率 D=1-C/A
耐用年数を 30年とした時	1,458,483,287	1,144,776,155	313,707,132	78.49%
耐用年数を 60年とした時	1,458,483,287	644,376,664	814,106,623	44.18%

※平成22年度固定資産台帳から抜粋



仮に耐用年数を2倍にして計算すると約44%になる。これは、人間の寿命を80歳として計算すると、35歳になるんじや。

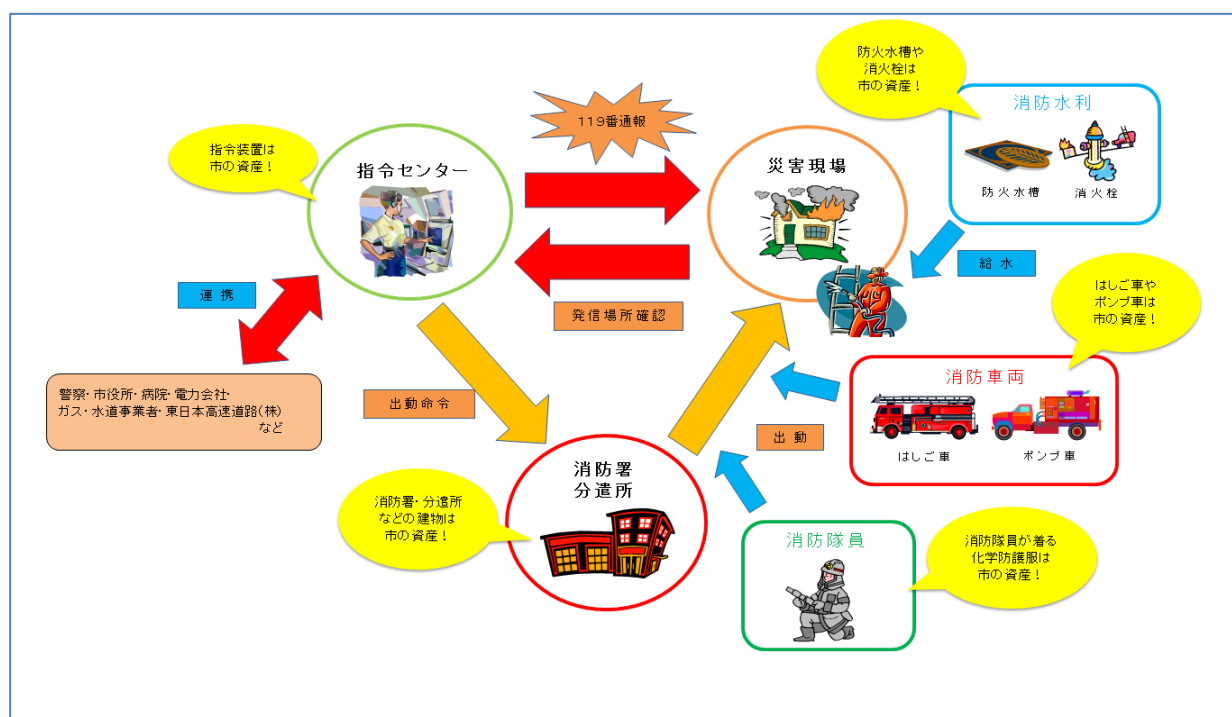
バランスシート上の耐用年数よりも実際には使えるといっても、いずれは古くなって使えなくなる時がくる。

今のうちから、きちんと更新計画を立てて、更新費用を確保しておくことが必要なんじや。

防火水槽以外の消防資産についても、知りたいな！



119番通報から消火までの流れ



119番通報を受けてから、火事が消火されるまでには、指令室や消防署、消防自動車、防護服、消火栓、防火水槽・・・たくさんの資産が必要なのがわかるじやろ。警察や市役所、病院など、たくさんの施設や機関が関わっていることもわかるな。

消火栓や防火水槽にホースをつなげて消火するためには、たくさんの人と資産が「連携プレー」をしているんだね！



そうじゃな。災害から市民を守る為に必要な消防の三要素は「人・施設・水」と言われておってな。
「人」は消防職員や消防団員、「施設」は消防署や消防車両や消防器具、「水」は消火栓や防火水槽などの施設を利用して供給される水のことで、三要素のどれが欠けても消火活動はできないんじやよ。

消防士さんの話

毎回2カ月かけて、市内657基ある防火水槽を回り、蓋がきちんと開くかどうか、水が溜まっているかどうか等の点検を行なっています。災害時に消火栓は使えなくなることがあるので、消火栓と防火水槽をバランスよく配置することが大事です。

防火水槽はバランスシート上の耐用年数の30年を超えても使えるので、今のところ老朽化して使えなくなったことはありませんが、蓋などが劣化して補修をすることはあります。

防火水槽も、他の消防の資産も、災害から市民の命を守る施設なので、定期的に点検・補修をしながら大切に使っています。



さっきにみたいに、耐用年数を2倍にして計算しなくても、バランスシートを見れば、本当の老朽化率がわかるようになったらいいのにな。そうすれば、更新計画も立てやすい気がするよ。



そうじゃな。資産の耐用年数は国が定めておるんじゃが、バランスシートを見れば、資産の本当の老朽化比率がわかって、更新計画が立てられるようにするには、バランスシート上の耐用年数を見直す必要もあるかも知れんの。



化学防護服を試着



指令室の緊張感を体験



化学防護服に触れてみる



はしご車に体験試乗



3 班隊員感想

黒田真衣大学生隊員

今回はバランスシート探検ということで、書類上で分かったことを基にして、見学したのですが、消防の職員の方々と直接、話をすることができたので、その中で消防の3要素は「人・施設・水」であるということや、消防の職員の方々の思い、施設同士の関わりなどが感じられたと思いました。消防自動車にはもう乗ることがないと思うので、貴重な体験ができて良かったです。

泉佑樹大学生隊員

防火水槽というのは非常に老朽化比率が高いということで興味があって調べたのですが、実際見てみると、老朽化比率70パーセントという老朽化の度合いは一般人の目線としては感じられませんでした。また、消防署員の方に伺っても、古いという認識はないということでした。そういう事情もあって、更新の優先順位がどんどん下がっている現状があるのではないかと思います。

宮崎陽右大学生隊員

普段は見られない消防署の中や指令室などを見たり、消防隊員の方から話を伺うことができて良かったです。防火水槽を実際見てみると、老朽化比率が高いのにもかかわらず、いまいち、それが建物と違ってよく分かりませんでした。やはり消防施設は、できるなら火事がなく、使われない方が望ましいと思うのですが、いざ必要になったときに使えないと困るので、消防の施設は大切なんだなと思いました。

安達陽子高校生隊員（星美学園高校）

最初は「老朽化比率」と言われても、よく分からなかったのですが、大学生隊員や市職員隊員の方に教えてもらい、分かるようになりました。実際に施設を見学して、更によく分かりました。

武藤智菜津高校生隊員（和洋国府台女子高校）

今回、バランスシート探検隊に参加し、袖ヶ浦東小、津田沼浄化センター、下水道のマンホールなどの公共施設で直接、市役所の方々と話しを聞いて、難しい語句もありましたが、今まで以上に市の仕事をより深く理解することができました。また、なかなか見られない施設を見学させていただき、貴重な体験となりました。

櫻井美月高校生隊員（和洋国府台女子高校）

学校のマラソン大会で、施設視察の日は途中からの参加になってしまい、はしご車に乗れなくて残念でしたが、体育館や浄化センターなど、みんなで見ることができて、良かったです。

酒主晴久市職員隊員

国の会計基準をもとに算出した老朽化率と、現物の見た目の印象とには結構差があるというのが率直な感想です。老朽化率という数字を鵜呑みにすることはできないと感じました。しかし、老朽化率は、市内各所に散らばっていて耐用年数がまちまちのあらゆる資産の現状を、ひとつの帳簿の上で客観的におおまかに比較できるという大きなメリットがあるはずです。市の資産は、古くなって壊れてから更新したのでは遅いものですから、何十年先までも見越して更新の計画を立てていかなくてはいけないと実感しました。施設建設や物品購入も、その時の財政状況だけで判断してしまうと、後々まで負担を強いることになるということも実感しました。

多賀谷朋子市職員隊員

最初は、バランスシートを見ても、「何だか分からないけど沢山お金がかかっているんだな」という認識だったのですが、色々勉強していく中で、「私達の生活を支えてくれている資産が沢山あるんだ」ということが分かりました。

消防施設を見学する中で、資産について、「生活を支えてくれている」というところまでの理解だったのが、「私達の命をしっかり守ってくれているものなんだ」ということが、職員の方の話を聞いたり、施設を見たりする中で実感され、本当に感動しました。

バランスシート探検隊というのは、すごくいい取り組みで、「沢山の資産がみんなの生活や命を守っているんだ」ということが本当に良く分かったので、こういう取り組みをこれからも続けていって、市民の方にも納得した上で、税金を負担していただければいいなと思いました。

はしご車試乗はすごく怖かったのですが、今後、人生でもう乗ることはないと思うので、貴重な体験をさせてもらって良かったと思いました。ありがとうございました。

9. 小学校（校舎）について



第4班メンバー紹介

大学生隊員（千葉大学）

奈良 亮・富永 悠馬

岡崎 笙子

高校生隊員

稲垣 果那（東邦大東邦高校）

山下 莉奈（東邦大東邦高校）

小島 美帆（東邦大東邦高校）

市職員隊員

吉野 広美・中村 裕美

第4班では、事業用資産の建物で学校が多いのは、なぜなのか調べてみることにしました。

習志野市の高度成長とともに歩んだ、袖ヶ浦東小学校を調べてみよう！
この小学校は、東京湾を埋めたててできた埋立地にある学校なんじゃ。



おじいちゃんに聞いたことがあるけど、東京湾を埋立するなんてすごいね。どうしてそんなことをしたの？

いい質問じゃ、これから学校の建物を調べていくのに、知っておきたいことだから説明しよう！

戦後、日本の経済は飛躍的に成長した。この経済成長を支えたのが、金の卵といわれた地方の若い労働者だったんじゃ。首都圏は急速に人口が増加し、各地に大型の団地が作られた。東京湾岸は埋め立てられ、習志野市には当時の日本住宅公団が袖ヶ浦団地（入居昭和42年）を造成したんじゃ。



埋立前の袖ヶ浦



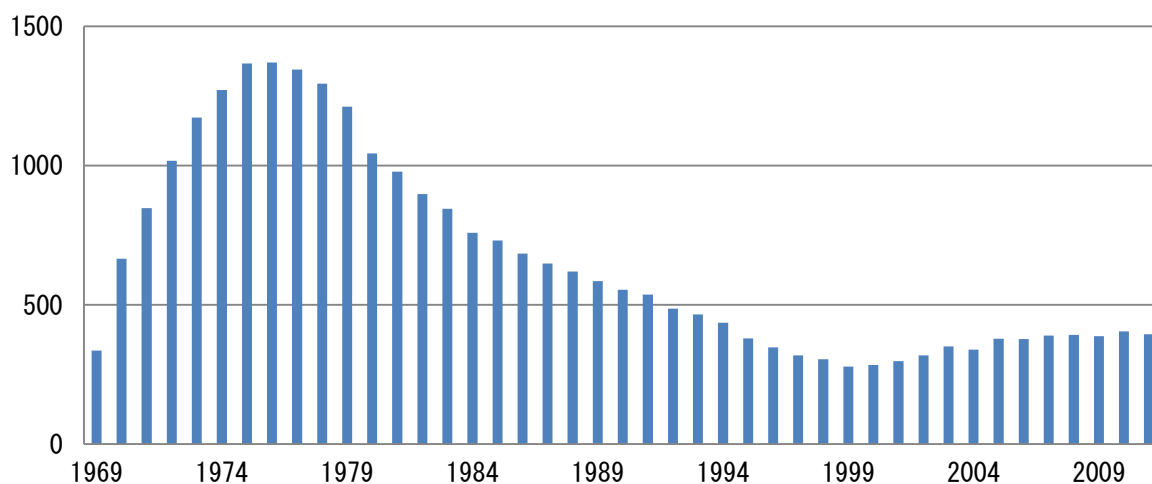
当時の袖ヶ浦団地

袖ヶ浦団地の入居を受けて、1967年（昭和42年）に袖ヶ浦西小学校が開校したんじゃが、急激な児童数の増加を受けて、2年後の1969年（昭和44年）に袖ヶ浦西小学校から分離独立する形で袖ヶ浦東小学校が開校したんじゃ。



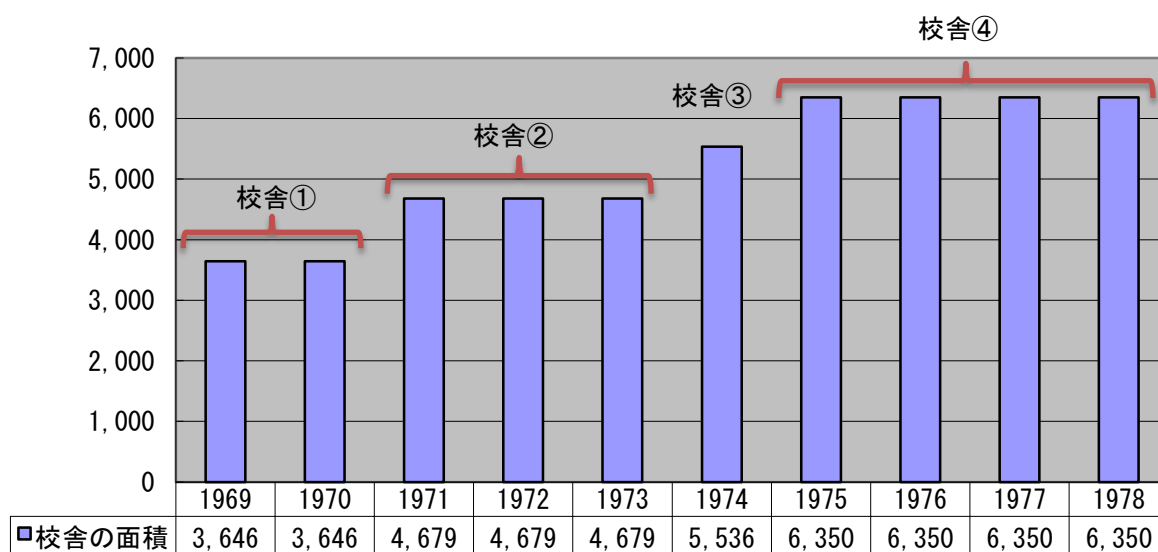
（単位：人数）

袖ヶ浦東小学校の児童数推移



1975年（昭和50年）頃まで児童数が急増しているけど、校舎はどうしたのかな？

校舎の面積（㎡）



(単位：円)

名称	取得年	耐用年数	取得価額 (再調達価額)	減価償却 累計額	期末簿価	延床面積
校舎①	1969年	47	494,400,000	429,732,480	64,667,520	3,646m ²
校舎②	1971年	47	180,030,000	152,665,440	27,364,560	1,033m ²
校舎③	1974年	47	97,271,600	74,237,652	23,033,948	857m ²
体育館	1975年	47	195,067,000	144,739,700	50,327,300	814m ²

※平成22年度固定資産台帳から抜粋

老朽化比率

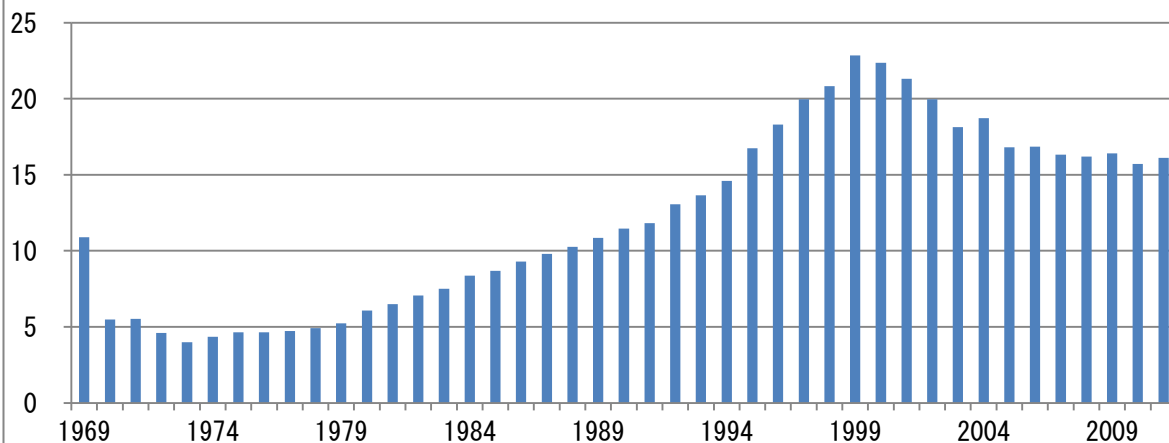
校舎①	86.9%
校舎②	84.8%
校舎③	76.3%
体育館	74.2%

学校が開校した1969年（昭和44年）から児童数が増加するたびに校舎を建築したことがわかるじゃろ。1975年（昭和50年）にやっと体育館ができて現在に至っておるんじゃ。
建築後40年経過しておるので、老朽化比率もかなり高くなっておる。



1人当たりの面積(校舎の面積÷児童数)

(単位：人数)



児童数がピークになった1975年（昭和50年）のあと、どんどん児童数が減っていったので、教室が余ってきたんじゃ。



わかりやすく説明するために、固定資産台帳に記載のある建物の延床面積、これは校舎の広さのことじゃが、この延床面積を児童数で割った1人あたりの面積を計算したのが上のグラフじゃ。

本当だ！校舎ができた最初の年は1人あたり11㎡もあったんだね。
でもすぐ児童数が増えて5㎡に減っているね。校舎の整備が終わった年からは一人あたりの面積が増えていってるね。最近は少し減ったけど1人当たり15㎡もあるんだ。

空き教室はどうなっているの？



教えて 教頭先生！



新館の利用状況を聞いたところ、小学校の教室はなく、地元の人が自由に使えるコミュニティルームなど多目的に使われていることがわかりました。



校庭で教頭先生より説明を受けました



コミュニティルームの中で教頭先生より説明を受けました



袖ヶ浦東小学校は空き教室を有効に使っていることがわかる。じゃが、他の小学校も児童数が減っているんじゃ。おまけに、ここの小学校もそうじゃが、老朽化比率が高かったじゃろ、それで平成19年度と平成20年度には大規模な修繕も行っているんじゃ（工事費約2億5千万円）。修繕しても、いつかは建替える必要がある。みんなで、どうしていけばいいのか考えていかなければいかんぞ。これは習志野市だけではなく、全国どこの市も同じ問題を抱えているんじゃ。習志野市は文教住宅都市として、早い時期から学校などの教育施設の整備をしてきたから、老朽化も進んでいるようじゃ。

現在の校舎の配置図（平成23年4月1日）

校舎①（面積：3,646㎡）

和室	6年1組	6年2組	4年1組	4年2組	児童会室	5年1組	5年2組	図書室	閲覧室
PC室	通級指導室	2年2組	2年1組	3年2組	3年1組	1年2組	1年1組	生活科室	多目的室
進級教室	通級教室	通級ブレイクーム	保健室	校長室	職員室	事務室	理科室	理科準備室	音楽準備室

校舎②（1,033㎡）

市P連会議室	PTA会議室
資料室1	資料室2
総合学習室1	総合学習室2
コミュニティルーム	学童保育室

校舎③（857㎡）

クラブ室	新館多目的室
家庭科室	図工室
幼稚園舎 面積に含まれていない	

体育館（814㎡）



ドキドキの発表です！



他の班員が聴いている様子



大塚隊長からの講評

4 班隊員感想

奈良亮大学生隊員

小学校を見学させていただいて、まず「空き教室がいっぱいあり、老朽化が進んでいる」と伺っていましたが、空き教室を、例えば保育室みたいな形で利用していたり、公民館のような色々な目的に使えるようにしていたりしていて、そういったことが見られて大変勉強意になりました。また、震災の影響等も広く受けていることがわかりました。こういった、見学してみた実情と、実際のバランスシートの現状とを踏まえて、将来の建替え等や小学校の抱える問題などについて考えていけばいいのかなと思いました。

富永悠馬大学生隊員

バランスシート探検隊として、視察の前に事前に見ていたデータとして、老朽化比率というのが、袖ヶ浦東小学校で70～80パーセントだったりして、そのデータをみた感じだと、とても老朽化が進んでいるのではないかと想像してたんですけど、実際に行ってみると、想像していたよりは全然きれいな感じで、まだまだ、そんな老朽化が進んでいるようには見えないと感じたので、実際のデータから施設の古さなどを把握するのは難しいなと感じました。

岡崎笙子大学生隊員

今回、事前に見学した小学校、校舎が老朽化していることは事前に数字などによって分かっていたのですが、実際行ってみて分かったことは、液状化の被害がとても大きいということで、また、まわりの人口はこれから、もう増えることはないということなので、いずれ起きる、資産の建替えのときに、資産の大きさと言うものを適正に考え直す必要があるのではないかとということを再認識しました。

稲垣果那高校生隊員（東邦大東邦高校）

袖ヶ浦東小学校を見て、バランスシート（レクチャーノート）を見ただけでは、空き教室があっても無駄だなと思っただけだったのですが、それも、ちゃんと使われていて、工夫されているなと思いました。

山下莉奈高校生隊員（東邦大東邦高校）

書類上では老朽化が進んでいる学校として、袖ヶ浦東小学校を訪問したのですが、実際に見てみると、東日本大震災の被害も大きく受けていること知って、今後の修繕の必要性を強く感じました。校舎などの資産の問題は長い期間をかけて考えていかなければならないと思いました。

小島美帆高校生隊員（東邦大東邦高校）

資料上では分からなかった空き教室の活用方法を実際目で見られて、その空き教室の使い方が団地の高齢化に伴って、空き教室の利用方法も変わっていくということを聞いて、興味深いなと思いました。

吉野広美市職員隊員

バランスシートを具体的に調べることによって、現状を見つめ、今後どう対応していかなければならないのかを考える機会になりました。また、今ある建物は、今後どうしていかなければならないのか、すぐには解決しない問題を抱えていることを実感しました。バランスシートから、市の今ある現状だけでなく、将来の状況も見えてきます。難しいですが、先を見越した対応をしていかなければならないと思いました。

中村裕美市職員隊員

肝心の時に欠席ばかりで、特に4班のみなさんにはご迷惑をおかけしました。探検隊の活動はバランスシートの勉強だけではなく、業務外のことについて調べたり、大学へ行ったり、と通常業務ではできない貴重な学習となりました。

（中村隊員は市民カレッジの業務の担当でやむなく欠席の回がありました。バランスシート探検隊事業を今後市民カレッジのカリキュラムに組むことを検討していただいています。＝事務局より）

公会計は自治体経営の羅針盤

～ 新しい公会計制度 ～



博士、公会計制度って何？



ちゃんとお金の管理をしているのに、なんで新しい制度が必要なの？

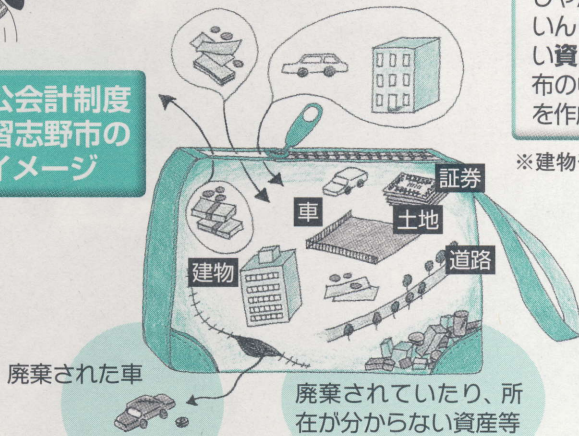
国や地方公共団体の会計のことを公会計と言うんじや。年度ごとにお金の出入りをしっかり管理しているんじやよ。



確にお金の出入りは正確にチェックしておるし、現金で購入した資産は台帳にも記載しておるんじやがな、建物などの資産はその年だけの話ではないんじや！つまり、現行の公会計では、わかりにくい**資産や負債、減価償却費**などを含めた市の財布の中身を整理して、**バランスシート**という書類を作成することが**新しい公会計制度**なんじや。



現行の公会計制度による習志野市の財布のイメージ



※建物や車など、使用年数に伴って減少する資産価値を計算したもの

バランスシート

資 産	負 債	資産とは？ →土地・建物・金銭など
	純資産	負債とは？ →借入金など
		純資産とは？ →資産から負債を差し引いた残額



お財布の中身がバランスシートになるの？何が違うの？



バランスシートから何がわかるの？

例えばな、50年間使う建物を建てた場合、今までは取得した時に台帳に載せておったんじや。しかし建物は毎年使うたびに価値が下がると考えるんじや。この価値が下がった分を**減価償却**といってな、使ったことにより建物価額の価値が下がった分もちゃんと台帳に加えたり、土地や有価証券などもその時の時価に変更したりもするんじやよ。毎年3月31日現在において保有する資産と、借金などの負担している**負債**を調べるんじやよ。



習志野市のバランスシート (平成23年3月31日現在)

資 産	負 債
5,777億2千万円	931億1千万円
	純資産
	4,846億1千万円

習志野市のバランスシートをしてみるぞ！左側が今までに整備した資産の合計額じや。これらを整備するために「**今までの世代**」が負担した(国や県からの金や寄付なども含む)ものが**純資産**、「**これからの世代**」が負担するのが**負債**じや。バランスシートをみれば、「**今までの世代**」と「**これからの世代**」の負担割合がわかるんじやよ。この割合のことを**純資産比率**というんじや。下の表を見てごらん。



近隣市との純資産比率の比較

	純資産(百万円)(A)	資産(百万円)(B)	純資産比率(%) (A) ÷ (B)	いすみ市	54,205	81,882	66.2
市川市	923,778	1,086,775	85.0	野田市	179,995	272,784	66.0
習志野市	484,612	577,725	83.9	柏市	443,523	684,938	64.8
流山市	308,737	394,405	78.3	八千代市	175,060	273,080	64.1
市原市	436,136	575,351	75.8	船橋市	535,044	857,912	62.4
成田市	229,676	306,339	75.0	八街市	57,541	92,383	62.3
東金市	107,021	143,512	74.6	千葉市	1,766,711	3,052,250	57.9
山武市	103,750	144,720	71.7	千葉県(参考)	3,744,532	7,960,926	47.0
印西市	117,589	169,245	69.5	日本国(参考)	▲402,369,446	768,934,423	▲52.3
木更津市	197,438	284,498	69.4				

※平成22年度連結決算(2012地方自治体財務総覧:東洋経済新報社)



新しい公会計制度について、バランスシート博士と高校生きら子さんによる
Q&A方式で皆さんに説明していきます！

バランスシート博士

きら子さん



習志野市の純資産比率は高いのね。国はマイナスなんて、どういふこと？

資産のうち、将来返さなくていいお金である純資産がどれだけの割合であるかを表せるのが純資産比率なんじゃ。純資産比率が高い方がいいと思われがちじゃが、「これからの世代」にも公平に負担してもらうためには、一概に借金するのが悪いとはいひ切れんのじゃよ。じゃが国は、赤字国債といって資産でないものまで借金してきたから資産より負債が多くなってしまったのじゃ。

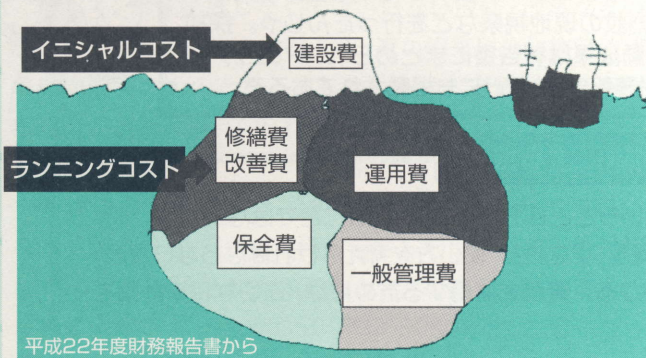


習志野市は資産も多くて、お金持ちだから私たちは心配しなくても大丈夫なの？

資産のうち、97%は公共資産で、行政サービスを提供するための資産であつたり、住環境を整備する資産で売却できない資産であるから、お金持ちということではないんじゃ。



ライフサイクルコストの内訳



資産があつてもお金持ちじゃないなんてどうして？

建物を保有するためにはいろいろな費用が必要なんじゃ。建物の建設から取り壊しまでにかかる費用をライフサイクルコストといって、建設に必要なインニシャルコスト、管理や修繕に必要なランニングコストなど多額の費用がかかるんじゃ。建設費はそん中氷山の一角に過ぎないのじゃよ。



そうなんだ、資産があることは、私たちの役に立つものがあるということだけど、ライフサイクルコストがかかることもわかつたわ！

そうなんじゃよ。それに、この大切な資産もだいつ老朽化しているんじゃ。老朽化比率とは、資産がどの程度老朽化しているかを示すものなんじゃ。

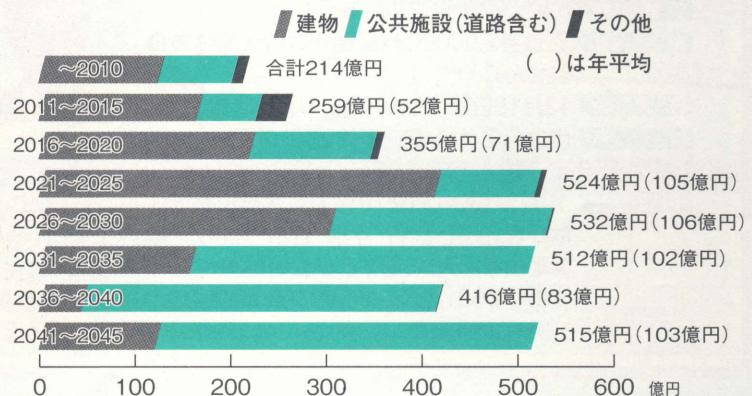


老朽化比率

施設名	取得価額(億円) (C)	減価償却累計額(億円) (D)	老朽化比率(%) (D) ÷ (C)
防火水槽	14	11	78.6
道路	289	202	69.9
建物	722	478	66.2
ガス(導管)	231	147	63.6
公園	110	60	54.5
下水道	1,265	546	43.2
ごみ処理	214	92	43.0
橋梁	76	32	42.1
下水処理	276	113	40.9
水道(構築物)	201	72	35.8

※平成22年度財務報告書から

新公会計基準モデルからわかる 将来の資産更新必要額



古くなつたら、建て替へればいいじゃない！

それができればいいんじゃが、右の図を見てごらん。今ある資産を建て替へた場合の試算じゃが、このままでは、1年あたり平均で100億円もかかる期間もあるんじゃよ。





私たちも、習志野市の資産のことを勉強したいといけね。

みんなで考えていかなければならんぞ。しかしそのためには、財務状況の理解が欠かせんのじゃが、市の財務書類には専門用語も多く分かりにくいじゃ。そこで平成23年度に、千葉大学の学生と習志野市の高校生などが中心となって、多くの市民に市の財務状況を理解してもらうことを目的として、バランスシート探検隊を組織したのじゃよ。習志野市のバランスシートを「高校生にもわかる」視点で読み解く、全国でも初めての取り組みじゃ。



へー、実際にはどんな活動をしていたの？

習志野市のバランスシートについての勉強会を開催したり、公共施設の現地視察などを行ったんじゃ。探検隊による活動成果は報告書にまとめられ、アニュアルレポート(財務報告書)などにも掲載されておるぞ。



バランスシート探検隊による成果

- ▶「資産がある」というのは、「使うべき施設・設備がある」ということ(「お金持ち」ということではない)
- ▶金額が大きい資産は、それだけ大きな役割を果たすべき資産(すなわち、使い方を考えなければならない資産)
- ▶資産を使っていくためにも手間(人員、維持管理費)がかかる。資産を活用するためには、適切な将来計画を立てていくことが必要となる

YouTubeでバランスシート探検隊の活動の様子を配信しています。

習志野市 バランスシート探検隊

検索

「習志野市の家計簿をチェック！」座談会の参加者募集

市内在住のファイナンシャルプランナーが資産や負債を盛り込んだ市の家計簿を作成し、過去の状況や他市の状況などから家計簿をチェックします。

座談会で、管理会計の専門家から助言をいただきながら、公募市民の視点から意見をいただき、習志野市のライフデザイン・ライフプランについて話し合います。この内容については平成25年3月発行のアニュアルレポート(財務報告書)に掲載します。

募集人数 5人

謝礼 図書券2,000円分(交通費等の支給はありません)

日時 12月19日(水) 午後6時～9時

場所 庁舎分室(サンロード津田沼)6階

参加資格 市内在住

申込み方法 10月31日(必着)までに、メールまたははがき(住所・氏名・年齢・性別・連絡先・応募理由を記入)で財政部公会計担当へ
〒275-8601 鷺沼1-1-1 財政部公会計担当
✉: koukaikei@city.narashino.chiba.jp

コーディネーター



神余崇子: 明治大学大学院政治経済学研究科博士後期課程単位取得退学。
城西国際大学経営情報学部准教授。大学生のキャリア形成におけるパーソナルファイナンス教育の重要性を唱える。
日本FP学会所属、日本FP協会金融経済教育委員会委員などを務める。

出席者

〈管理会計の専門家〉



松村俊英

早稲田大学政治経済学部卒業。
地方銀行、経済研究所勤務を経て、(株)パブリック・マネジメント・コンサルティング設立に参加。現在、取締役副社長。
公的活動として、内閣府官民競争入札等監理委員会専門委員、墨田区行政改革委員会副会長などを務める。

〈ファイナンシャルプランナー〉

※ NPO 法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会推薦
渡辺一江氏(秋津在住)、**横田芽弥子氏**(津田沼在住)
高橋誠氏(新栄在住)、**小林恭子氏**(谷津在住)
鈴木清子氏(谷津在住)

2013年11月11日
第16回都市政策研究交流会

「都市の調査研究活動の技法と課題」

無断転載、複製および転訳載を禁止します。
引用の際は本書（稿）が出典であることを必ず明記してください。

This paper is copyrighted and may not be copied or duplicated in any manner including printed or electronic media, regardless of whether for a fee or gratis without the prior written permission of the authors and Japan Center for Cities. Any quotation from this paper requires indication of the source.